

「同」 「修」
わたしにできること、一年

②

わたしは、12月が大好きです。それは
いちねんにいっかいだけくるわたしのたんじ
ようびがあるからです。たんじようびのひは
おとうさんもおかあさんもはやくかえってき
て、みんなでごはんをたべます。うたをうた
って、ケーキもたべる、とてもたのしいひで
す。だから、このほんのたんじようびがいて
どんなたんじようびがいなのかな、とおもって
このほんをえらびました。どうしてまよなか
なのかな、おはけとおいわいするのがなだの
しろうだばとおもいよみはじめました。
このほんは、さきちやんのたんじようびの
おはなしです。さきちやんは、わたしとちが
って、おとうさんがいません。さきちやんが
ちいさいときいびきうきでなくなっているか
らです。だから、かそくのためにおかあさん
かあさはやくからぶるおそくまで、タクシ
ーのうんてんしやをしていきます。このひもさ
きちやんとやくそくしていたけれど、たおれ
ているいとがいて、かえりかおそくなつてし

まいしました。ちきちちゃんのことをおぼすねてい
るわけではありません。みんながそろって、
たんじょうかい。まよなかでも、みんなにお
いわいしてもらって、とてもうれしそうです。
よか、たね、ちきちちゃん。

わたしのおかあさんも、あさはやくからし
ごとをしております。かくどうのおおかえは、
おはあちゃんかしてくれませう。か？こうでの
ことをおかあさんにはなしたくてもすぐには
はなせませう。か？こうからすぐにかえるよ

もだちのことをいいな、とおもうときもあ
ます。けどこのほんをよんで、おかあさんは
かぞくのたぬにかんばっていること、そして
そのしごとがだれかのやくにたっていること
をしりました。いえにかえりてきてからも、
ごはんのじやんびせしたり、おふろをあら
たりいせのしごとをしているおかあさん。わ
たしもかぞくのたぬに、こつたいをしたいで
す。まずは、おふろそうじから。わたしも、
かんばります。